

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501010100		事業の種類	2	
年度	26	事務事業名	市民体育館管理事業		予算事業名	市民体育館運営管理事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘
取組み事項		スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		市民体育館改修					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、体育館利用者					
	誰(何)を対象として	市民、体育館利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が市民体育館を利用し、安全に様々なスポーツ活動が展開される場を提供する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市民体育館の管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	利用件数	件	3938	6224	6648	6000	
	利用者数	人	35633	86409	96193	90000	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.284	0.340	120	0.340	100	0.340	100	
	臨時職員	0.100	0.160	160	0.142	89	0.160	113	
支出内訳	人件費	2,740,852	3,321,470	121	3,337,913	100	3,365,234	101	
	事業費	109,571,307	19,822,356	18	14,911,025	75	12,610,000	85	
	合計	14,404,959	23,143,826	161	18,248,938	79	15,975,234	88	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,205,080	1,754,980	146	1,982,120	113	1,800,000	91	
	一般財源	13,199,879	21,388,846	162	16,266,818	76	14,175,234	87	
合計	14,404,959	23,143,826	161	18,248,938	79	15,975,234	88		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民体育館利用状況							
指標説明(式)		市民体育館利用人員							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	90000	80000	88.9	80000	100.0	90000	112.5	
	実績	35633	86409	242.5	96193	111.3			
指標名2		市民体育館利用状況							
指標説明(式)		卓球場利用人員(大人)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3000	3000	100.0	3000	100.0	3000	100.0	
	実績	2006	3254	162.2	3446	105.9			

【効率性】

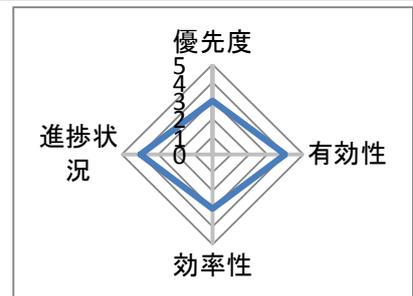
指標名1		市民体育館管理事業費							
指標説明(式)		市民体育館管理事業費総額							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	110326000	20790000	18.8	17262000	83.0	12610000	73.1	
	実績	109571307	19822356	18.1	14911025	75.2			
指標名2		市民体育館管理事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	99050000	9050000	9.1	4113000	45.4	1050000	25.5	
	実績	99702054	9693700	9.7	4071440	42.0			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	総利用者数、卓球場利用者人数において、前年度の実績を大幅に超えることができた。	4
	組織運営・適正管理	施設の延命化に向け、今後も維持修繕に取り組む必要がある。	
効率性	コストの節減	節電に心がけ、光熱水費抑制に努めた。	3
	執行体制の効率性	平日夜間、休日の体育館受付業務をシルバー人材センターに委託を行い、執行体制は効果的である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	災害時の第一次避難所であることから、ライフライン断絶時、避難所としての機能設備の充実を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の維持修繕を行い、さらなる安心、安全な施設運営に取り組む必要がある。

配点	25
総合評価	17

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501010200		事業の種類	2	
年度	26	事務事業名	市民プール管理運営事業	予算事業名	市民プール管理事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘
取組み事項		スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		市民プール改修事業		市民プール改修工事			
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、プール利用者					
	誰(何)を対象として	市民、プール利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が安全に利用できる施設として、管理運営を行う。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市民プールの施設内における遊泳者の監視や利用者の受付対応、水質の維持管理を行うことにより、利用者が安全かつ快適にプールを利用できるよう努める。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	利用者数(総数)	人	8206	8189	6845	4000	
	利用者数(中央プール)	人	3772	3964	3337	廃止	
	利用者数(西部プール)	人	4434	4225	3508	4000	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96
	参事以下職員	0.100	0.080	80	0.148	185	0.140	95
	臨時職員	1.324	0.020	2	0.012	60	0.012	100
支出内訳	人件費	4,260,908	981,110	23	1,534,397	156	1,426,614	93
	事業費	6,495,445	11,852,475	182	4,684,420	40	6,274,000	134
	合計	10,756,353	12,833,585	119	6,218,817	48	7,700,614	124
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他	407,400	360,710	89	240,870	67	0	0
	一般財源	10,348,953	12,472,875	121	5,977,947	48	7,700,614	129
	合計	10,756,353	12,833,585	119	6,218,817	48	7,700,614	124

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民プール利用状況							
指標説明(式)		市民プール利用人員(総数)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	8000	8200	102.5	8200	100.0	4000	48.8	中央プール廃止
	実績	8206	8189	99.8	6845	83.6			
指標名2		市民プール利用状況							
指標説明(式)		小学校のプール利用(学校教育課程として)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4000	4000	100.0	4000	100.0	2000	50.0	
	実績	3999	4370	109.3	3936	90.1			

【効率性】

指標名1		市民プール管理運営事業費							
指標説明(式)		市民プール管理運営事業費総額(賃金含む)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9587000	16576000	172.9	10245000	61.8	6274000	61.2	
	実績	8391985	15208125	181.2	7835040	51.5			
指標名2		市民プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	300000	6400000	2133.3	300000	4.7	300000	100.0	
	実績	757050	6012300	794.2	104760	1.7			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校の水泳指導、放課後児童保育として適正に使用できた。学校教育課程としての利用者は、前年度横ばいであったが、ほぼ目標達成することができた。	3
	組織運営・適正管理	事故なく、適正な管理運営を図ることができた。	
効率性	コストの節減	水質管理に努め、使用水量、薬剤の節減に努めた。	4
	執行体制の効率性	プール監視員を市のパート職員として雇用し、適正な人員配置を行い、安全確保に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	少子化により、小学校の児童数が減少している昨今、大きな事故もなく、適正な管理運営ができています。	3

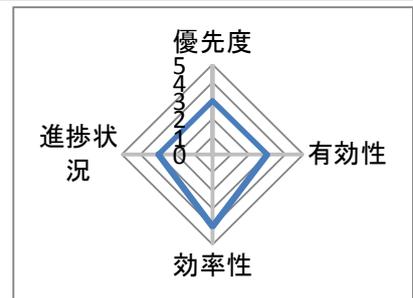
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	中央プールの施設の老朽化、人員減少により26年度をもって、廃止となった。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	(株)アクアティックに管理運営業務委託となるが、今後も適正管理に努めていく。



配点	25
総合評価	16

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501010300		事業の種類	2	
年度	26	事務事業名	市民グラウンド管理運営事業		予算事業名	市民グラウンド管理事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘
取組み事項		スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		スポーツセンター土壌改良工事		東部公園グラウンド改修事業			
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、市民グラウンド利用者					
	誰(何)を対象として	市民、市民グラウンド利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が安全に利用できる施設として、適正な維持管理を行い、スポーツの場を提供する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市民グラウンドの利用者が快適に利用できるよう、施設の整備、充実に努める。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	利用者数	人	17886	18280	18432	20000	
	利用件数	件	173	209	212	200	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.320	0.380	119	0.380	100	0.380	100	
	臨時職員	0.050	0.080	160	0.080	100	0.080	100	
支出内訳	人件費	2,898,766	3,433,670	118	3,497,173	102	3,466,354	99	
	事業費	4,447,335	3,837,499	86	3,756,201	98	4,070,000	108	
	合計	7,346,101	7,271,169	99	7,253,374	100	7,536,354	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	315,500	316,620	100	350,900	111	312,000	89	
	一般財源	7,030,601	6,954,549	99	6,902,474	99	7,224,354	105	
合計	7,346,101	7,271,169	99	7,253,374	100	7,536,354	104		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民グラウンド利用状況							
指標説明(式)		市民グラウンド利用人員							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	30000	20000	66.7	20000	100.0	20000	100.0	
	実績	17886	18280	102.2	18432	100.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		市民グラウンド管理運営事業費							
指標説明(式)		市民グラウンド管理運営事業費総額							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4539000	3959000	87.2	3766000	95.1	4110000	109.1	
	実績	4447335	3837499	86.3	3756201	97.9			
指標名2		市民グラウンド管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1110000	110000	9.9	110000	100.0	110000	100.0	
	実績	1100400	122325	11.1	381240	311.7			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	天候により利用件数等が大きく左右されるが、前年度と比較し、利用者数、利用件数ともに増となった。	3
	組織運営・適正管理	利用団体との協働により、良好な施設活用が図れた。	
効率性	コストの節減	施設の維持修繕竣工により、管理運営事業費が減となった。	4
	執行体制の効率性	利用がない日および利用時間帯等、利用形態に合わせた委託管理の調整を行い、施設管理の効率性を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、適正な維持管理を行い、スポーツの場を提供できている。	4

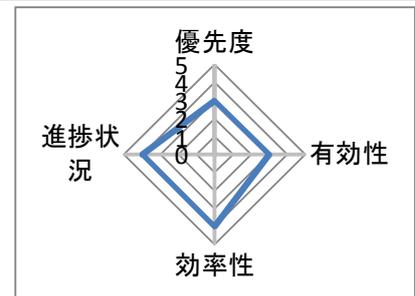
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の充実や今後の適正管理体制について検討が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	使用実態に即した委託管理を行い、事業費節減に努める。



配点	25
総合評価	17

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号	010501010400		事業の種類	2			
年度	26	事務事業名	温水プール管理運営事業	予算事業名	温水プール管理運営事業	優先度	4
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘	
取組み事項	スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名	温水プール改修事業		温水プール改修工事				
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、温水プール利用者					
	誰(何)を対象として	市民、温水プール利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、健康維持の増進、スポーツの場を提供する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	指定管理者制度により包括的に委託し、温水プール維持管理運営業務を行う。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	利用者数	人	103981	107681	104217	100000

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96
	参事以下職員	0.100	0.140	140	0.302	216	0.320	106
	臨時職員	0.000		-		-		-
支出内訳	人件費	1,079,336	1,393,510	129	2,698,429	194	2,791,674	103
	事業費	38,541,300	32,407,515	84	34,375,680	106	99,939,000	291
	合計	39,620,636	33,801,025	85	37,074,109	110	102,730,674	277
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他	650,880	2,713,739	417	2,925,930	108	650,000	22
	一般財源	38,969,756	31,087,286	80	34,148,179	110	102,080,674	299
合計	39,620,636	33,801,025	85	37,074,109	110	102,730,674	277	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	温水プール利用状況								
指標説明(式)	温水プール利用人員								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	103981	107681	103.6	104217	96.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		温水プール管理運営事業費							
指標説明(式)		温水プール管理運営事業費総額							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	39600000	32593000	82.3	38290000	117.5	99939000	261.0	
	実績	38541300	32407515	84.1	34375680	106.1			
指標名2		温水プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	18600000	10600000	57.0	3600000	34.0	71733000	1992.6	
	実績	17541300	10559850	60.2	295920	2.8			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	前年度に引き続き、目標値を達成することができた。	4
	組織運営・適正管理	来館者にアンケートを実施し、要望に対しては可能な限り対応を行った。	
効率性	コストの節減	指定管理者による節電、節水等のコスト削減意識により、節減に努められている。	4
	手段の最適性	新規体操教室、体験教室、プールアスレチック、入会金無料期間を設ける等により、会員および利用者の維持に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	4

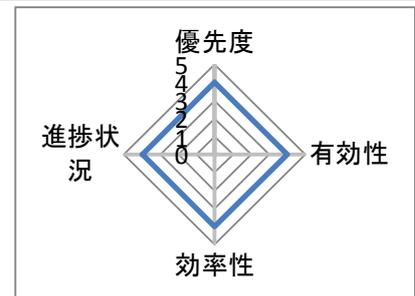
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	経年のため、プール施設改修計画による適正管理が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	計画的な施設維持修繕に努め、適正な管理を推進する。プール室天井改修工事予定。



配点	25
総合評価	20

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020100		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	海洋訓練教室推進事業		予算事業名	海洋訓練教室推進事業 優先度 4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然に恵まれた海を利用して、ヨット・ボート・カヌーなど海洋スポーツの普及に努める。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		子どもへの海洋スポーツの普及・促進					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	参加者	人	547	954	725	900	
	会員数(子ども)	人	14	18	15	20	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.032	133	0.024	75	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	492,312	501,818	102	606,469	121	495,306	82	
	事業費	706,693	2,203,777	312	690,937	31	738,000	107	
	合計	1,199,005	2,705,595	226	1,297,406	48	1,233,306	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,199,005	2,705,595	226	1,297,406	48	1,233,306	95	
合計	1,199,005	2,705,595	226	1,297,406	48	1,233,306	95		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加者							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	500	600	120.0	900	150.0	900	100.0	
	実績	547	954	174.4	725	76.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

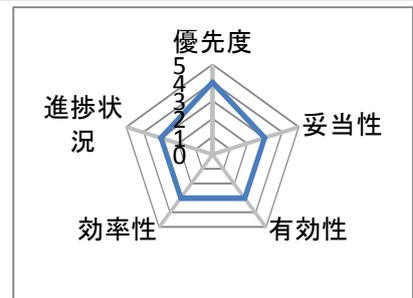
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生湾特有の穏やかな波を活かし、多くの参加者のもと海洋訓練を行えた。	3
効率性	手段の最適性	B&Gあいおい海洋クラブ(委託先)の、市から自立できる体制整備に取り組む必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定よりも数多くの参加者、また会員の獲得ができた。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	マリンスポーツの普及、環境学習活動など、観光部門よりも、教育・体育所管が担当する方が、ヨットの競技選手育成などへつなげることができる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	レクリエーションにとどまることなく、海のあるまちに住む相生の子供たちの未来に影響を与えるような事業であり続け、改善していかななくてはならない

配点	32.5
総合評価	21.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020200		事業の種類	3		
年度	26	事務事業名	社会体育計画管理事業		予算事業名	社会体育費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘	
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	庁内組織、千種川水系地区社会体育担当者会議およびスポーツ推進審議会						
	意図(どのような状態にしたいのか)	近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	千種川水系地区社会体育担当者会議	回	1	1	1	1	
	スポーツ推進審議会	回	2	2	2	2	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.160	0.120	75	0.140	117	0.140	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,542,776	1,239,770	80	1,443,253	116	1,395,234	97	
	事業費	181,932	192,370	106	169,448	88	201,000	119	
	合計	1,724,708	1,432,140	83	1,612,701	113	1,596,234	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,724,708	1,432,140	83	1,612,701	113	1,596,234	99	
合計	1,724,708	1,432,140	83	1,612,701	113	1,596,234	99		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進審議会および千種川水系地区社会体育担当者会議							
指標説明(式)		審議会および担当者会議開催数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

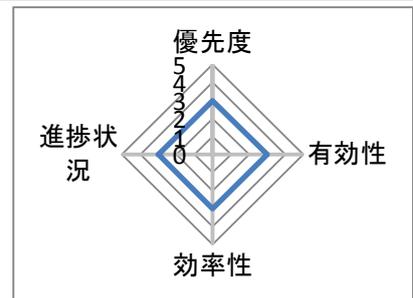
指標名1		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標説明(式)		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		一般事務経費							
指標説明(式)		社会体育費事務経費+スポーツ推進審議会報酬							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	201000	201000	100.0	201000	100.0	201000	100.0	
	実績	181932	192370	105.7	169448	88.1			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツ推進審議会は年2回開催することができた。	3
	組織運営・適正管理	審議会委員の若返りには至っていない。	
効率性	コストの節減	スポーツ推進審議会委員報酬のほか、必要事業費のみの予算措置である。	3
	執行体制の効率性	社会体育振興事業に寄与できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツ推進審議会での答申を得ながら、計画的で効率的なスポーツの推進が図れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	スポーツ推進審議会委員について、全体的に委員の若返りを検討していく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	スポーツ推進審議会委員報酬については、すでに改定済である。

配点	25
総合評価	15

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号	010501020300		事業の種類	4			
年度	26	事務事業名	スポーツ活動推進事業	予算事業名	社会体育振興事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	井上勇治	
取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が暮らしの中で体力づくりや健康保持等、それぞれの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要	各種競技スポーツの推進、スポーツクラブ21の推進、国際大会、全国大会出場選手に対する優秀選手激励制度の運用に取り組む。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	市民体育大会事業等	種目数	25	21	21	25
	優秀選手激励制度	件	48	31	38	50

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.560	0.632	113	0.664	105	0.660	99	
	臨時職員	0.100	0.112	112	0.132	118	0.138	105	
支出内訳	人件費	4,872,676	5,448,906	112	5,823,965	107	5,790,264	99	
	事業費	2,993,137	2,620,990	88	2,798,017	107	2,654,000	95	
	合計	7,865,813	8,069,896	103	8,621,982	107	8,444,264	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	213,500	225,500	106	232,000	103	240,000	103	
	一般財源	7,652,313	7,844,396	103	8,389,982	107	8,204,264	98	
合計	7,865,813	8,069,896	103	8,621,982	107	8,444,264	98		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1	市民体育大会等実施数								
指標説明(式)	市民体育大会+その他振興事業 ※市民体育大会:15種目 その他:6事業								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	26	26	100.0	25	96.2	25	100.0	
	実績	25	21	84.0	21	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

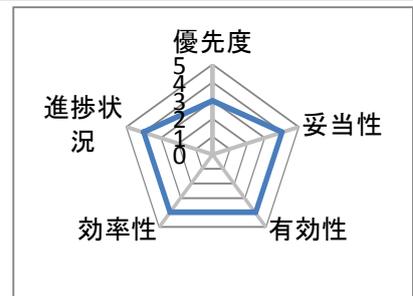
指標名1		市民体育大会等(1種目あたりのコスト)							
指標説明(式)		社会体育普及振興事業費÷大会等種目数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	118807	108230	91.1	112560	104.0	106160	94.3	
	実績	119725	124809	104.2	133238	106.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	制度の運用、各種振興事業とも適切に実施されている。	4
	市民サービス	スポーツ安全保険については、体育協会等の種目団体に広く活用された。	
効率性	コストの節減	優秀選手激励制度については、制度の趣旨を損なわないようコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動が幅広く展開できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業の自主的な運営を進めるため、団体との連携が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	各大会種目の参加者を増加させ、参加者一人当たりにかかる必要事業費を削減する必要がある。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020400	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	ジュニアスポーツ振興事業	予算事業名	ジュニアスポーツ振興事業 優先度 4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		担当者名	朝田訓弘
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(ジュニア層)			
	誰(何)を対象として	市民(ジュニア層)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	子ども達のスポーツへの関心が高まり、学校で地域で家庭で生き生きとしたスポーツ活動を展開する。特に小中学生のスポーツ人口の増加と基礎体力の向上を目指す。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		小中学生の基礎体力の低下が精神面や人間形成、学力の低下にまで影響を及ぼしている中、児童や生徒に対し、学校体育だけではなく、広くスポーツに接する機会を提供する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	相生湾チビッ子駅伝	チーム	48	41	48	45
	少年親善剣道大会	チーム	82	111	99	100
	ジュニア陸上競技教室	人	84	90	150	150

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.584	0.618	106	0.638	103	0.640	100	
	臨時職員	0.100	0.140	140	0.140	100	0.152	109	
支出内訳	人件費	5,058,052	5,409,636	107	5,641,957	104	5,671,714	101	
	事業費	1,350,000	1,320,000	98	1,420,000	108	1,420,000	100	
	合計	6,408,052	6,729,636	105	7,061,957	105	7,091,714	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	260,600	234,200	90	279,000	119	249,000	89	
	一般財源	6,147,452	6,495,436	106	6,782,957	104	6,842,714	101	
合計	6,408,052	6,729,636	105	7,061,957	105	7,091,714	100		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ジュニアスポーツ普及振興事業							
指標説明(式)		事業(大会・教室等数)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	12	12	100.0	12	100.0	12	100.0	
	実績	13	12	92.3	12	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

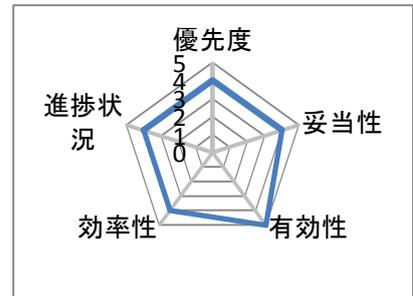
指標名1		ジュニアスポーツ(1大会・教室あたりのコスト)							
指標説明(式)		ジュニアスポーツ普及振興事業÷事業数(大会・教室等)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	112500	110000	97.8	118333	107.6	118333	100.0	
	実績	103846	110000	105.9	118333	107.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	他市町との交流や大会参加により、競技力の向上が図られている。	5
	市民サービス	子ども達に取り組みやすい教室や発達の場を提供できている。	
効率性	コストの節減	児童、生徒数の減少もあり、それに見合ったコスト削減を図っている。	4
	手段の最適性	子どもの基礎体力向上に力点をおいて事業の展開を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各種目別大会において参加者が増加しており、子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	学校と連携を図り、子ども達のニーズにあった事業展開が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	事業規模や参加者数に見合った事業費の増減を行う。

配点	32.5
総合評価	27

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020500		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	レクリエーションスポーツ振興事業	予算事業名	レクリエーションスポーツ振興事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	井上勇治
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	誰もが自分にあった形で生活の中にスポーツを取り入れる。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市民誰もが暮らしの中での体力づくりや健康維持等、スポーツを取り入れやすいように、レクリエーションスポーツに親しめる場の確保や大会等の開催を行う。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	あそぼうる	回	5	5	5	5	
	ターゲットバードゴルフ	回	6	6	7	7	
	グラウンドゴルフ	回	5	5	5	5	
	スポーツフェスティバル参加者数	人	837	1440	1298	1500	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.596	0.660	111	0.804	122	0.804	100	
	臨時職員	0.200	0.260	130	0.260	100	0.260	100	
支出内訳	人件費	5,391,040	6,025,410	112	7,219,725	120	7,226,446	100	
	事業費	4,344,000	4,354,000	100	4,385,000	101	4,365,000	100	
	合計	9,735,040	10,379,410	107	11,604,725	112	11,591,446	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	389,000	369,500	95	310,500	84	465,000	150	
	一般財源	9,346,040	10,009,910	107	11,294,225	113	11,126,446	99	
合計	9,735,040	10,379,410	107	11,604,725	112	11,591,446	100		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催事業数							
指標説明(式)		あそぼうる、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ペタンク							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	16	18	112.5	19	105.6	19	100.0	
	実績	18	18	100.0	19	105.6			
指標名2		スポーツフェスティバルAIOI参加者数							
指標説明(式)		参加者							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	900	1300	144.4	1500	115.4	1500	100.0	
	実績	837	1440	172.0	1298	90.1			

【効率性】

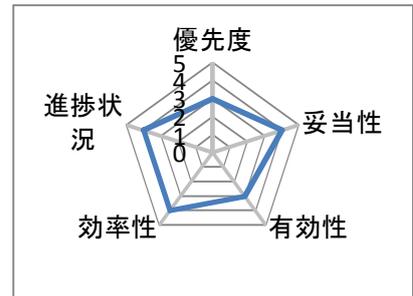
指標名1		スポーツフェスティバルAIOI(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツフェスティバルAIOIに係る事業費÷参加者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3222	2230	69.2	2066	92.6	2066	100.0	
	実績	3464	2013	58.1	2388	118.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツフェスティバルについては、幼児から高齢者まで、より多くの市民が参加できるようプログラム内容の見直しを行う必要がある。	3
	市民サービス	市民一人ひとりが主体的に行うレクリエーションスポーツについて、行政としてスポーツをする場の提供やきっかけづくりなどの側面支援を行うことができた。	
効率性	コストの節減	市民ニーズを把握、分析しながらスクラップアンドビルドを行い、ニュースポーツの普及等、事業の効果を高める必要がある。	4
	負担割合の適正化	スポーツフェスティバルは幼児から高齢者までの誰もが気軽に参加できるよう、参加料は無料としている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしが図られている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢化社会に向け、目標達成のため事業内容および運営等について検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	昨年度の新規事業として、多世代で取り組める「アジャタ」の市民大会を開催したが、今年度も継続し、地域コミュニティの活性化を図る。

配点	32.5
総合評価	23

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020600		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	スポーツ教室事業	予算事業名	スポーツ教室事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	初心者を対象としたスポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心を持ち、親しむ機会を提供する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心を持ち、親しむ機会を提供する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	スポーツ教室参加者数	人	160	261	252	280	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.040	0.240	600	0.120	50	0.120	100	
	臨時職員	0.160	0.240	150	0.240	100	0.240	100	
支出内訳	人件費	1,000,376	2,748,050	275	1,871,493	68	1,867,674	100	
	事業費	477,600	869,528	182	866,460	100	884,000	102	
	合計	1,477,976	3,617,578	245	2,737,953	76	2,751,674	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	477,600	869,528	182	866,460	100	884,000	102	
	一般財源	1,000,376	2,748,050	275	1,871,493	68	1,867,674	100	
合計	1,477,976	3,617,578	245	2,737,953	76	2,751,674	101		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ教室参加者数							
指標説明(式)		参加者							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	250	300	120.0	280	93.3	280	100.0	
	実績	160	261	163.1	252	96.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

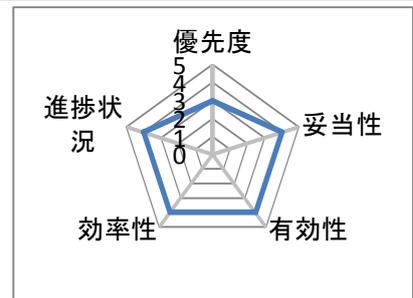
指標名1		スポーツ教室(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ教室実施事業費÷参加者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2492	2943	118.1	3153	107.1	3157	100.1	
	実績	2985	3331	111.6	3438	103.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	幼児体操以外のスポーツ教室の参加者が減少となった。	4
	市民サービス	健康体操、卓球、バレーボール、バドミントン、幼児体操の5教室を開催することができた。	
効率性	コストの節減	講師は体育協会加盟団体を主としたスポーツ団体に依頼しており、事業費は謝礼が主のため、コスト削減は難しい。	4
	手段の最適性	各スポーツ教室とも開催回数は3期であり、教室の開催時期、開催回数ともに最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	教室開催期だけでなく、それ以外でもスポーツに親しめるよう、スポーツ活動普及促進を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	教室開催のPRを積極的に行う。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020800		事業の種類	4		
年度	26	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業		予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業 優先度		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと		担当者名	井上勇治
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	各種目競技の普及推進、奨励を促す。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		権威ある大会等において、成績が顕著な個人や団体に対しスポーツ顕彰の贈呈を行うことで、競技者の士気を高め、さらには各種目競技の普及推進、奨励を促す。						
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画		
	スポーツ顕彰	件		55	44	60		

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員		0.222	-	0.260	117	0.260	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		2,023,844	-	2,373,013	117	2,326,194	98	
	事業費		119,900	-	131,430	110	405,000	308	
	合計		2,143,744	-	2,504,443	117	2,731,194	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		2,143,744	-	2,504,443	117	2,731,194	109	
合計		2,143,744	-	2,504,443	117	2,731,194	109		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ顕彰受賞者数							
指標説明(式)		県大会以上に進み、スポーツ顕彰を受賞した人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標		70	-	70	100.0	60	85.7	
	実績		55	-	44	80.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

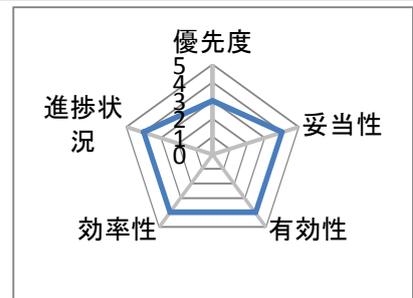
指標名1		スポーツ顕彰受賞者(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ・文化芸術顕彰事業÷受賞者							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標		4071	-	4071	100.0	6750	165.8	
	実績		2180	-	2987	137.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	教育委員会として顕彰制度の一本化を図り、「相生市スポーツ顕彰に関する要綱」として施行している。	4
	市民サービス	競技スポーツに取り組む人の努力にこたえることができた。	
効率性	コストの節減	制度の趣旨を損なわないようコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	要綱に基づき、適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	功績に相応した顕彰を贈呈できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	昨年度の制度改正により、受賞者は減少したが、受賞資格等の明確化が図られた。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	市広報紙やホームページを活用し、効果的な制度の周知、PRIに努める。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020900		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	多世代型スポーツ導入事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	井上勇治
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	多世代が楽しめるスポーツを導入し、地域コミュニティの活性化を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		小学生から高齢者までの多世代が一堂に会し、気軽に楽しめる新規スポーツとして、スポーツ玉入れ「アジャタ」の導入を行い、スポーツを通して市民のふれ合いや地域交流の促進等、地域コミュニティの活性化を図る。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	大会参加者数	人		210			
	用具貸出件数	件		21			

## 3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員		0.400	-		0		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		3,392,130	-	358,533	11	309,114	86	
	事業費		789,200	-		0		-	
	合計		4,181,330	-	358,533	9	309,114	86	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他		789,200	-		0		-	
	一般財源		3,392,130	-	358,533	11	309,114	86	
合計		4,181,330	-	358,533	9	309,114	86		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		大会参加者数							
指標説明(式)		参加者(2大会)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標		300	-		0.0		-	
	実績		210	-		0.0		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		多世代型スポーツ導入(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		多世代型スポーツ導入事業費÷参加者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標		2666	-		0.0		-	
	実績		3758	-		0.0		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	ふるさと応援寄附で行う多世代型スポーツ導入事業は25年度完了。	

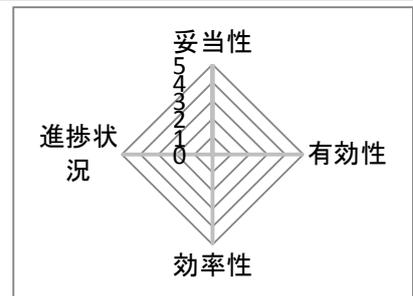
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501030100		事業の種類	3	
年度	26	事務事業名	スポーツ推進委員事業		予算事業名	相生市スポーツ推進委員事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	井上勇治
取組み事項		スポーツリーダーを育成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域でのスポーツリーダーとして活動することで、スポーツ活動が活性化する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ推進委員の資質向上のため、各大会への参加、近隣の市町や市内での交流会、研修、講習参加や開催に取り組む。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	スポーツ推進委員会	回	11	10	9	10	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.256	0.288	113	0.328	114	0.328	100	
	臨時職員	0.000	0.020	-	0.020	100	0.020	100	
支出内訳	人件費	2,284,280	2,580,006	113	2,948,477	114	2,906,038	99	
	事業費	3,331,140	3,456,820	104	3,208,580	93	3,492,000	109	
	合計	5,615,420	6,036,826	108	6,157,057	102	6,398,038	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,615,420	6,036,826	108	6,157,057	102	6,398,038	104	
合計	5,615,420	6,036,826	108	6,157,057	102	6,398,038	104		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進委員数							
指標説明(式)		スポーツ推進委員数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	27	27	100.0	28	103.7	29	103.6	
	実績	27	27	100.0	29	107.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

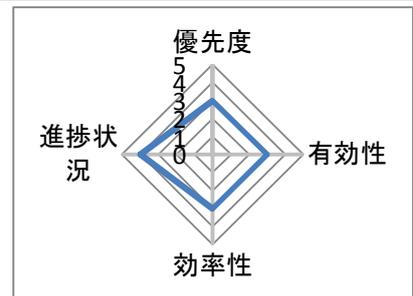
指標名1		スポーツ推進委員報酬							
指標説明(式)		スポーツ推進委員報酬総額							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3080000	3311000	107.5	3311000	100.0	3311000	100.0	
	実績	3095400	3311000	107.0	3311000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各事業の指導や支援が円滑に行われている。	3
	組織運営・適正管理	組織運営は適切かつ円滑に行われている。	
効率性	コストの節減	各種事業や新規スポーツ事業等の応援をスポーツ推進委員に依存しているため、報酬の削減は困難である。	3
	執行体制の効率性	女性委員の増員、委員の若返りを図る必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域でのスポーツリーダーとして活動できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	地域スポーツのリーダー確保や育成が重要であることから、各種目や各地域から均等に委員を選出する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業応援に必要な人員数を検討し、必要最低限の応援を依頼することでコスト削減を図る。

配点	25
総合評価	16